

令和2年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

主体的に学び、思いを伝え合う児童の育成
～体験的な学習を取り入れた指導実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、HRTとALTやJTEとのチームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階の応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通して楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、相手に思いを伝えるとなると自信が持てない児童や、「はずかしい」「なんと云えばいいかわからない」など苦手意識を持つ児童も見られる。本年度は、将来的に「英語で討論・交渉できること」を目指した実践的な英語教育へと変化をしていく。そのことから、児童の実態を理解しているHRTが中心となった授業計画の下、授業実践で体験的な学習をより多く取り入れていく必要がある。

そこで、本年度は様々な指導法や体験的な活動を通しての言語の習得を行いながら、英語に親しみ身近な日常会話の場の設定や発表の工夫を行っていく。本校では、ALTやJTEに頼った授業の提案が現状としてあるため、授業計画の段階からHRTが関わって、児童が英語をより身近なものとし、思いを伝え合うコミュニケーションを育む授業展開を目指す。授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTやJTEとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果をベースにして、積極的にコミュニケーションを図り、思いを伝え合おうとする児童の育成を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。
- ・英語をよく聞き、進んで発話する。
- ・行事やイベントを通して、外国と日本との文化の違いに気づき、外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

⑤書くこと

- ・大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

(2) 指導方針・方法

- 毎週木曜日に英語ミーティングの時間を設け、事前に英語の授業の流れを担当と ALT・JTE で確認し、授業がスムーズに行えるようにする。
- 各学年の英語担当を中心に、ALT・JTE と授業の流れや、各学年の発達段階に合わせた、語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し、登下校時の校内放送や、運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 半年ずつ ALT・JTE が担当学年を交換して指導を行うことで、児童が色々な英語に触れることができるようにする。
- 日常的に外国語に慣れ親しむことができるように、学校全体や各教室、掲示物の工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年



顔のパーツを聞き取り，グループで協力して顔を仕上げている様子。



Do you like
Candy canes?

好きなら
“Yes, I do.”
だよ。

クリスマスに関するワードを覚えて，友達に質問したり，答えたりして交流する場面。

2年



ハロウィンに関するワードを練習している様子。発音をよく聞いてリピートしています。



色，形，味などのヒントで，くだものカルタ遊びをしている。

3年



インタビューゲームがスムーズに行えるように，冬の言葉をJTEと確認している。



「What's this?」を使って，インタビューゲームをしている。

4年



ハロウィーンにちなんで、英語で椅子取りゲームをしている様子。



ICTを活用し、グループで発表している。

5年



めあてと振り返りの連動や質の向上を図ることで英語力の素地を育てている。



習ったフレーズや単語を使った対話の充実を図り、英語の定着を図っている。

6年



フレーズのやり取りを通して、自分の考えを伝え合う力の向上をめざす。



学習した単語やフレーズを使い、ワークシートにまとめ、書く力の定着をめざす。

Topic : Lesson 8-2

Goals of this class : What do you want to be?

めあて: 将来自分がつきたい職業の表し方を知り、聞いたり言ったりすることができる。

Target vocabulary : occupation, country, reaction word.

通 程	学習活動と内容 Activity	教師の支援		備考 Remarks
		ALT/JTE	HRT	
導 入	[Warm up & Greetings] 5min -Greetings Day, Date, Weather	*Greetings *Classroom RULES *Greetings	日直がかけ声とあいさつ デイリークイズ	日直 HR
展 開	[ACTIVITIES] 5min Song Count on me----Bruno Mars		歌詞カードを見ながら一緒に歌ってみよう。	
めあてを確認する: 将来自分がつきたい職業の表し方を知り、聞いたり言ったりすることができる。				
	Let's listen 5min Let's listen the speech and connect dot to dot.	-I want to visit many countries. -I like playing video games. -I'm good at cooking. -I like children. I want to be a OOOOO.	教科書 88 ページ 会話を聞いて正しい絵を選び点と点を結ぶ。 はじめに、やりたいこと、好きなこと、得意なことを選ぶ。 次に、その子の将来の夢を選ぶ。	デジタル教科書 P88
	Let's say it together! 5min Let's practice reaction words.	Look at the slides and repeat after the teacher.	パワーポイントを見ながら、尋ねて出てくる言葉の発音練習	パワーポイント
	Let's write 10min Let's practice writing. Trace the letter. Let's practice the key phrases.	Practice writing the occupations. Select 3 students to write at front. 3rd person will write his/her dream.	ワークシート② 職業を表す言葉をなぞろう。 3人選出 4 線を意識して文字を正しく書くこと。 書いた人が読みあげて、クラスみんながリアクションする。	ワークシート
	Activity 1 10min Matching card by group	教科書末尾の職業カードと、関連カードを見ながら、チームで協力してカードを合わせていこう。	グループ対抗 神経衰弱	
ま と め	[Class closing] 5min Wrap up/Review Stamping Closing	Alright, that's all for today. Did you enjoy the class? Let's go get stamps/stickers!!		振り返りシート スタンプ

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- ・英語ミーティングを確実に行うことで、1時間の授業の流れがスムーズになり、子どもたちも見通しを持ちながら学習に前向きに取り組むことができた。
- ・ビンゴやかるた、ダンスなどのアクティビティを通して、楽しんで英語の学習ができた。
- ・ハロウィンやクリスマスなどの外国の文化に触れることができた。
- ・形成的評価において、名前、あいさつ、天気、曜日を正しく答えられる子が全体の86%いた。
- ・フォニックス導入時に、アルファベットの音を確認しながら書くことで、文字を認識できるようになってきた。

中学年

- ・JTEやALTと、毎時間のミーティングを行うことで、スムーズに授業を行うことができた。
- ・毎時間、フォニックスの時間を設けることで、日本語と英語の発音の違いに気づき、発音することができてきている。
- ・学期途中から英語ルーム(机なし)から教室での学習に変更し、デジタル教科書や電子黒板などを活用することで、落ち着いて学びに向かうことができた。
- ・英語の発音(フォニックス)を積極的に真似したり、教師の質問に答えられたりする児童が増えてきた。

高学年

- ・単元を貫く言語活動の充実を図ることで、自分の気持ちに合った受け答えを考え、言えるようになった。
- ・単元テストを単元毎に入れることで、読む力、書く力、聞く力をバランスよく伸ばすことができた。
- ・毎時間、発音だけでなく、書く活動にも取り組むことで、子どもたちの書く力が身に付いている。
- ・ICTを活用し視覚化することで、理解が深まり、友だちとのやり取りを積極的に行える児童が増えた。
- ・振り返りの観点を示すことで、授業内容についての自己の振り返りが充実している。

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●センテンスの定着が弱く、相手とのコミュニケーション手段が単語しかない。(1年)	☆月ごとの計画を立て、単語のみならず、センテンスに触れる時間を設ける。
●個人差があり、発表の場で自信をもって発言できない児童がいる。(1・2・3年・4年)	☆練習の時間を確保し、繰り返し指導を行うことで、自信を持たせていく。 ☆活動の形態を工夫しながら、発音する回数を増やしていく。
●外国語を学ぶにあたり、自信をもって発言したり、書いたり、聞いたりすることに個人差がある。(5年)	☆計画的に効果的な宿題を与える。 ☆必要に応じて日本語で支援したりする等HRTとALTの連携と対話の時間の確保を図る。
●全体の場で、積極的に発表する子はいるが、個人差が大きい。(6年)	☆ペアや小グループ内での発表の機会を増やし、自信を持たせる。 ☆数人グループで発表することで、安心して発表できる場を作る。
●JTEやALTに授業計画を立ててもらい、授業も中心となって進めてもらっている。	☆研修などを通して、担任の英語力の向上を図る。また、ミーティングの時にもさらに積極的に担任が関わるようにしていく。